

～第2回 環日セミナー～

日時：2015年6月9日(火) 17:20-19:00

開催場所：金沢大学角間キャンパス自然科学系図書館棟 G14 会議室

1. 縁辺海環境学の展開について

環日本海域環境研究センター 統合環境領域 長尾誠也

アジアモンスーンの風下に位置する日本列島及び南シナ海・東シナ海から北上する暖流が流入する日本海は、東アジアの社会環境と自然環境の変動を鋭敏に反映している。そのため、越境汚染物質の大気輸送・反応を解明するとともに、陸域と海洋における移動・蓄積と生態系やヒトの健康に対する影響を評価する必要がある。本発表では、環日本海域環境研究センターが取り組むべき研究として、縁辺海環境学を提案する。

2. 地球年代学：手法の開発と災害研究への応用

環日本海域環境研究センター 陸域環境領域 長谷部徳子

金沢大学で実施可能な年代測定法と、その応用例の紹介をします。応用例では特に環日本海域における災害（津波、地震、火山）に関連した研究について、これまでの成果と今後の展望、及びそのために必要な手法の開発について話題にします。

《環日セミナー概要》

○環日セミナーについて

環日センター所属の教員同士や大学内外の研究者との間での共同研究の促進と相互理解の推進のために、毎月1回のセンター会議後に開催するセミナーです。環日センターの教員に関わらず、興味のある方はどなたでも参加することができます。学生の参加も歓迎します。

○発表者の方へ

- ・発表時間：発表 20-30 分、質疑 20-30 分の併せて 50 分がお一人の持ち時間となります。
発表 25 分+質疑 25 分を目安にしてください。
- ・発表演題と概要：ご発表の1ヶ月前までに、発表演題と概要（100 字程度）をお送りください。
- ・パソコン：パソコンのつなぎかえ時間短縮のために、ウインドウスのノートパソコンを用意します。
動画や、音声、プログラム等、特別な設備が必要な場合は前もってお知らせ願います。
マックをお使いの方は、ウインドウスパソコンで発表できるよう PDF ファイル等をご準備いただくか、ご自身のパソコンとコネクターをご準備願います。
- ・配布資料：とくに準備していただく必要はありませんが、配布物がある場合にはご発表3日前までに配布資料をメールで送って下さい。

○連絡先

陸域環境領域 西川 潮

usio@se.kanazawa-u.ac.jp